

第11回日本少年野球 アートワークス杯2年生大会

令和5年

5月 6^土日 7^日 13^土日

ART WORKS

主 催 (公財)日本少年野球連盟 栃木県支部

協 賛 株式会社アートワークス

会 場 栃木県営C球場 他栃木県内野球場

第11回アートワークス杯2年生大会組合せ

日時 令和5年5月6、7、13日（14日予備日）

予選リーグ戦

場所：関谷南運動公園野球場・大桶運動公園・県営C球場・上三川浄化センター・佐野市運動公園（赤見）・石那田G（県央宇都宮専用G）他

初日予選リーグ

5月6日（土）

チーム	Aブロック			Bブロック		
	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3
①	佐野	県央宇都宮	鹿沼	栃木さくらA	那須野ヶ原	上三川
②	宇都宮中央	大田原	栃木さくらB	栃木	小山	真岡
③	越谷	ひたちなか	本庄	浦和	山形東部	群馬西毛
G	佐野	県央宇都宮	鹿沼	栃木さくらA	那須野ヶ原	上三川
責	赤見野球場	石那田G	県営C球場	大桶	関谷南G	浄化センター

順位リーグ戦

5月7日（日）

チーム	Aブロック 1位	Bブロック 1位
①		
②		
③		
G	県営C球場	南那須緑地
責		

交流戦 各ブロック2、3位チーム

注1、12チームを3ブロックに分けてトーナメント戦を行う

2、組合せは、グラウンド提供者を考慮して本部で決定する

3、審判は、当該チームで2名出し合い行う

4、試合会場は、3球場を使用する

※審判は主審と2塁審は試合の無いチーム、1塁・3塁は自チームとするが下記による

全試合	1日目	第一試合 ①対② 審③	第二試合 ②対③ 審①	第三試合 ①対③ 審②
	2日目	第一試合 ①対② 審③	第二試合 ②対③ 審①	第三試合 ①対③ 審②

第二試合、第三試合の試合開始時間は、前試合終了後30分後とするが、試合の進み状況を見て決定する。2日目の交流戦は、注3で行う

決勝・3位決定戦

5月13日

使用グラウンド:南那須緑地野球場



令和 5 年 度
第 11 回 日 本 少 年 野 球 全 ア ー ト ワ ー ク ス 杯
2 年 生 大 会

開 催 要 項

- 1、主 催 (公財)日本少年野球連盟 栃木県支部
- 2、協 賛 株式会社 アートワークス
- 3、目 的 次世代を担う少年の健康育成を図ると共に少年野球の啓発と普及発展に寄与する
- 4、期 日 令和5年5月6日(土)・7日(日)・13日(土)
- 5、開会式球場 行いません
- 6、閉会式球場 南那須緑地野球場
- 7、開 催 球 場 県営C球場・南那須市緑地運動公園野球場他県内野球場
- 8、試 合 方 法 18チームを6ブロックに分け、3チームでのリーグ戦・順位同
※ 2日目、ブロックの2、3位チームの交流戦を行う
2023年度公認野球規則及び大会申し合わせ事項による
- 9、参 加 チーム 栃木県支部所属チーム 12チーム 県外チーム 6チー、
計 18チーム
- 10、参 加 費 1チーム 15,000円 (当日受付で納)
- 11、審 判 各チーム2名(1人は主審が出来る方)お願いします
- 12、参 加 資 格 2023年連盟登録選手とする
- 13、表 彰 優勝チーム ・ 準優勝チーム ・ 3、4位チーム敢闘賞

[illegible][illegible]

越谷ボーイズ		
代表	樋口	幸男
監督	土井	貴文
コーチ	淀川俊太郎	
マネージャー	吉本	真純
背番号	選手名	
主 8	尾形	夏輝
1	朝倉	大翔
2	荒井健太郎	
3	新井	然
4	石山	怜明
5	井出	來夢
6	大槻	雅弘
7	大牧	優太
9	沖崎	翼
10	梶原	維心
11	川端	弓月
12	木附	隼人
13	小池	叶芽
14	三枝	亮太
15	佐藤	瑛太
16	佐藤	僚亮
18	下川	遼
19	菅原琥太郎	
20	田崎琥太郎	
21	中村	亘汰
22	中村	聡志
23	藤岡	拓叶
24	水梨	匠海
25	山形	遼
26	柚須	水稀

東京宇都宮ボーイズ		
代表	入江	孝夫
監督	古賀	英明
コーチ	鈴木	利幸
マネージャー	大久保裕之	
背番号	選手名	
主 8	真分	太陽
2	片桐	温飛
3	山崎	琉正
7	秋澤	壮輝
10	平野	杜和
12	手塚	遥音
29	福田	柚生
30	池田	康成
33	大貫	慶柘
42	野中	咲輝
44	大畑	勇人
47	石澤	琥羽
49	若林	琉斗
54	土田	秀翔
56	影山	大翔
59	日下田	悠慎
62	鈴木	朝陽
63	小松	一紀
64	工藤	瑛斗
65	渡邊	拓夢
67	鈴木	翔也
68	難波	俊太朗
70	福田	源空

[illegible][illegible][illegible]

栃木さくらボーイズB		
代表	齋藤 智	
監督	齊藤 敏明	
コーチ	矢口 智博	
マネージャー	植木 健二	
背番号	選手名	
主 6	野口	隼
1	岡田	晴
2	河本	大暉
3	小林	善
4	笹沼	愁希
7	財部	晴人
8	半田	太一
9	山中	志斗
10	飯沼	栄守
11	岡本	夏空
12	川田	皓斗
13	小池	那月
14	坂井	光葵
15	瀧田	蒼空
16	夢々羅	悠人
17	寺内	楓真
18	永井	颯一
19	永岡	陽翔
21	橋本	幹太
22	福澤	顕太
23	堀崎	俊輔
24	村上	颯
25	山根	優大
26	和氣	優真
27	渡邊	夢響

真岡ボーイズ

群馬西毛ボーイズ

大会規定

- ① チームの登録選手 11 名以上 25 名以内とする。
- ② 出場選手は令和 5 年本大会の登録締め切り日現在、連盟に登録済の者に限る。
- ③ 資格審査に当たっては、大会本部にて選手登録名簿とオーダー表を照合の上、資格審査証と選手本人の照合をする。なお、審査証は当年度発行のものとする。
- ④ オーダー表記入選手 25 名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることが出来る。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯してない場合は、いかなる場合でもベンチに入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上その時点でベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
- ⑤ 大会 1 日目は組合せの若番号が 1 塁側のベンチ、後番号が 3 塁側ベンチに入る。2 日目の 3 試合目は、2 試合目の勝ち上がりチームはベンチの移動せずに行うこととする。
- ⑥ 監督(背番号 60)、コーチ(背番号 50)は、選手と同じユニフォームを着用すること。
- ⑦ 試合開始時間 60 分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表 5 部、投球数記録副表 3 部および大会初戦の場合は、直前大会参加報告書(練習試合含む)を大会本部に提出のうえ、所定の審査を受けなければならない。
- ⑧ オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
- ⑨ 試合開始までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- ⑩ 試合方式など

●中学生の部

- (1) 各試合は 7 回戦で行い、4 回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から 2 時間(決勝戦は 2 時間 20 分)を超えた場合、新しいイニングには入らない。(ただし、後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、両チームが完了した均等回の総得点で勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
- (2) 4 回終了時(後攻チームが勝ってる場合は 4 回表終了時) 10 点差、5 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
- (3) 7 回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長 8 回(決勝戦は 10 回)あるいは試合開始から 2 時間(決勝戦は 2 時間 20 分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」を参照)

タイブレーク実施細則

(1) 特別規則

- (ア) 中学生の部は延長 8 回あるいは試合開始から 2 時間を超えて (いずれか早い方)、決勝戦は 10 回あるいは 2 時間 20 分を超えて (いずれか早い方)、小学生の部は延長 7 回あるいは試合開始から 1 時間 40 分を超えて (いずれか早い方)、決勝戦は 9 回あるいは 2 時間を超えて (いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (イ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打順の者とする。
- (ウ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。
- (エ) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(ア) 投手記録

- ・規定により出塁した 3 走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(イ) 打撃成績

- ・規定により出塁した 3 走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁死、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した 3 走者を絡めた打点、併殺打などは全て記録する。

【試合開始前の整列】

試合開始前のホームベース付近での整列は選手のみとする。監督・コーチ・マネージャーは、代表と共にベンチ前にて整列し、あいさつを行う。

中学生投手の投球制限ガイドライン 2023年版

レギュラーの部・ジュニアの部 大会

中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- ① 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。
連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕
手としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数としない。
- ⑥ 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- ⑦ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

1年生 大会

1年生大会の試合での登板は以下の通り制限する。

- ① 1日最大70球とし、連続する2日間で105球以内とする。
連続する2日間で70球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を35球以内とし
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日70球投球後、翌日投球を休めば3日目70球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で70球を超えた投手、並びに3連投した投手は、
翌日は捕手としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数にしない。
- ⑥ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

共通事項

ダブルヘッターの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。
また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

ART WORKS

Package Design

株式会社アートワークス

〒321-0901 栃木県宇都宮市平出町1054

TEL 028-612-3825 FAX 028-678-3897

✉ main@aws2011.com

業務内容：パッケージデザイン・ダンボール関連業務